

教科・「科目」	数学・「数学A」	単位数	学習形態	学年	履修学科、必修・選択の別等
		2	座学	2	全学科履修科目

1. 目標と評価規準

目標	場合の数と確率、図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	
評価の観点と比重	評価規準	評価の方法
関心・意欲・態度 (20%程度)	場合の数と確率、図形の性質における考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	学習状況発表等
数学的な見方や考え方 (10%程度)	場合の数と確率、図形の性質において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	確認テスト等
数学的な技能 (30%程度)	場合の数と確率、図形の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	ノート課題定期考査等
知識・理解 (40%程度)	場合の数と確率、図形の性質における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	定期考査等
使用教材等	教科書:改訂版 最新 数学A(数研出版) 副教材:パラレルノート 数学 I +A、電子黒板、学習用パソコン	

2. 年間指導計画

学期	月	単元・教材名	主な学習内容	ICT利活用
1 学期	4	第1章 場合の数と確率	場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	電子黒板、学習用パソコン
	5		集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について理解する。	
	6		具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求める。	
	7		確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求める。また、確率を事象の考察に活用する。	
2 学期	9	第2章 図形の性質	独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求める。また、それを事象の考察に活用する。	電子黒板、学習用パソコン
	10			
	11		平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	
3 学期	12		三角形に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明する。	電子黒板、学習用パソコン
	1		円に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明する。	
	2		基本的な図形の性質などをいろいろな図形の作図に活用する。	
	3			

備考	
----	--